

授業科目名	生命・医療倫理学 (英: Medical Ethics)		
対象学年	医学科4年生	単位	単位 2
科目責任者	さかい のりお 酒井 規雄	所属	神経薬理学 (内線 5140)
		メール	nsakai@hiroshima-u.ac.jp
授業方法	講義中心、掲示板討論		
概要	医師になる者にとって倫理的側面の必須な知識と考え方を学ぶ。		
到達目標	<p>医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。 ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。 医学研究と倫理(それぞれの研究に対応した倫理指針と法律)を説明できる。 臨床試験・治験と倫理性(ヘルシンキ宣言、第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準(Good Clinical Practice &lt;GCP&gt;)、治験審査委員会・倫理審査委員会(institutional review board &lt;IRB&gt;))を説明できる。</p>		
講義日程	<p>第1回 ガイダンス 生命倫理学 概論 酒井規雄 第2回 日本における医学教育の歴史 井内康輝 第3回 Evidence-based medicineとは 松下毅彦 第4回 生命の誕生と倫理 兵頭麻希 第5回 講演「あほやけどノリオ」ダウン症のアニキをもって 外来講師 露の団六 (落語家) 第6回 ビデオ供覧 問題提起 第7回 人の出生に関わる生命医療問題 まとめ ビデオ供覧 酒井規雄 第8回 「医療裁判～患者側弁護士から伝えたいこと～」 岸本達司 (弁護士) 第9回 無罪事件から学ぶ ビデオ供覧 問題提起 酒井規雄 第10回 医療過誤 まとめ ビデオ供覧 酒井規雄 第11回 高齢者の終末期医療 竹内啓祐 第12回 看取りの医者 人の死に場所 ビデオ供覧 問題提起 酒井規雄 第13回 がん患者の終末期医療 小早川誠 第14回 検討中 第15回 検討中</p> <p>授業の区切りごとにレポート、掲示板討論を課す。授業中の指示に従うこと。</p>		
評価項目	出席、レポートの内容。		
評価法	出席 提出したレポートの内容で評価する。3分の2以上出席していないものは単位修得を認めない。		
履修上の注意 アドバイス	<p>課題が出た際には、速やかにBb9にて提出すること。 学外からの非常勤講師の授業が多いので、礼儀には気を付けること。 医学生としての姿勢を問う授業であるので、積極的に取り組むこと。</p>		
推奨参考書	特になし 毎回の授業の講義プリント Bb9の授業資料		